

応用経済学専攻のカリキュラムマップ

■カリキュラムマップの見方

この表は専攻ごとに観点別に定めている学位授与方針【ディプロマポリシー（DP）】が修了までに全て達成できるよう、バランスよく履修するツールとなるものです。学位授与方針とは、修了時点での到達目標を表します。一番上には所属する専攻の学位授与方針の番号が記載されており、どの科目で学位授与方針を達成するかを示しています（学位授与方針は下表参照）。

科目名の左側にあるアルファベットと数字は、ナンバリング（科目番号）といて、履修順序の目安となっています。また、○のついている科目は必修科目です。

各年次の履修科目の【◎】【●】記号は、各学位授与方針との関連度 [【◎】強く関連する／【●】関連する] を表しています。

【学位授与方針】

知識・理解	DP1	経済学の基礎理論を習得している。
	DP2	政策提言のための知見を提示することができる高度な理論的分析手法あるいは実証的分析手法を身に付けている。
	DP3	文献研究や判例研究を通じた実践的知識を有する。
	DP4	アジアを中心とする地域産業や流通に関する専門的知識を有する。
思考・判断	DP5	現実の経済現象および社会現象についての課題に対する洞察力と判断力を有する。
	DP6	専門分野における高い識見を有し、実務における的確な判断力を有する。
関心・意欲	DP7	積極的に、様々な現実問題に経済学的視点から取り組む意欲を有する。
	DP8	専門知識を基礎として、経済活動に対する深い関心を有する。
態度	DP9	国際化や多様化する現代の社会や組織において、自主性や協調性を持って自己の役割を果たす意欲を有する。
	DP10	社会に対する高い使命感を持ち、職業倫理に基づいた健全な判断力を身に付けている。
技能・表現	DP11	自ら研究計画を立案し、問題発見から解決策の提示にいたる過程を論文としてまとめることができる。
	DP12	自らの考えを効果的に主張することのできるプレゼンテーション能力とともに、他者の考えを把握して討論することのできるコミュニケーション能力を有する。

学年	科目番号	授業科目名	単位数	知識・理解				思考・判断		関心・意欲		態度		技能・表現	
				DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8	DP9	DP10	DP11	DP12
2年		○修士論文										●	●		◎
	574	○労働経済学論文指導 B	2	◎	◎	◎		◎		◎	●			◎	◎
	574	○経済政策論文指導 B	2	◎	◎	●		◎		●	◎			◎	◎
	574	○環境経済学論文指導 B	2	◎		●		●		●				◎	◎
	574	○現代社会政策論文指導 B	2									●		◎	●
	573	○労働経済学論文指導 A	2	◎	◎	◎		◎		◎	●			◎	◎
	573	○環境経済学論文指導 A	2	◎		●		●		●				●	◎
	573	○現代社会政策論文指導 A	2									●		◎	●
	564	○応用金融経済学論文指導 B	2	●					◎		●				
	563	○応用金融経済学論文指導 A	2	●					◎		●				
	554	○会計学論文指導 B	2			●			●					◎	
	553	○会計学論文指導 A	2			●			●					◎	
	544	○税法論文指導 B	2		◎	◎			●		●		●	◎	●
	544	○国際租税法論文指導 B	2		◎	●					●			◎	●
	543	○税法論文指導 A	2		◎	◎			●		●		●	◎	●
	543	○国際租税法論文指導 A	2		◎	●					●			◎	●
	534	○国際地域開発論文指導 B	2				●	◎	●	●		●			●
	533	○国際地域開発論文指導 A	2				●	◎	●	●		●			●
	524	○産業経済学論文指導 B	2				●				●			◎	◎
	524	○流通・マーケティング論文指導 B	2				●		●					◎	◎
	523	○産業経済学論文指導 A	2				●				●			◎	◎
	523	○流通・マーケティング論文指導 A	2				●		●		●			◎	◎
	514	○ミクロ経済学・応用ミクロ経済学論文指導 B	2		◎					●				◎	●
	514	○計量経済学・応用計量経済学論文指導 B	2		●				●					◎	◎
	514	○マクロ経済学・応用マクロ経済学論文指導 B	2											◎	●
	513	○ミクロ経済学・応用ミクロ経済学論文指導 A	2		◎					●				◎	◎
513	○計量経済学・応用計量経済学論文指導 A	2		●				●					◎	◎	
513	○マクロ経済学・応用マクロ経済学論文指導 A	2											◎	◎	

○：選択必修科目

学年	科目番号	授業科目名	単位数	知識・理解				思考・判断		関心・意欲		態度		技能・表現	
				DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8	DP9	DP10	DP11	DP12
1年	573	○経済政策論文指導 A	2	◎	◎	●		◎			◎			◎	◎
	572	○環境経済学研究指導 B	2	◎	●	●		●		●				●	◎
	572	○労働経済学研究指導 B	2	◎	◎	◎		◎		◎	●			◎	◎
	572	○経済政策研究指導 B	2	◎	◎	●		◎		◎	◎			◎	◎
	572	○現代社会政策論研究指導 B	2								◎	●			●
	571	○環境経済学研究指導 A	2	◎	●	●		●		●				●	◎
	571	○労働経済学研究指導 A	2	◎	◎	◎		◎		◎	●			◎	◎
	571	○経済政策研究指導 A	2	◎	◎	●		◎		◎	◎			◎	◎
	571	○現代社会政策論研究指導 A	2								◎	●			●
	562	○応用金融経済論研究指導 B	2	●						◎		●			
	561	○応用金融経済論研究指導 A	2	●						◎		●			
	552	○会計学研究指導 B	2								●			◎	●
	551	○会計学研究指導 A	2								●			◎	●
	542	○国際租税法研究指導 B	2		◎	●					●		●		◎
	542	○税法研究指導 B	2			◎				●		●		◎	●
	541	○税法研究指導 A	2		◎	◎				●		●		◎	●
	541	○国際租税法研究指導 A	2		◎	●				●		●		◎	●
	532	○国際地域開発論研究指導 B	2		◎	●				●		●			◎
	531	○国際地域開発論研究指導 A	2		●		◎		◎	●	●	●			●
	522	○産業経済論研究指導 B	2				◎			●	●				◎
	522	○流通・マーケティング論研究指導 B	2			●				●					◎
	521	○流通・マーケティング論研究指導 A	2			●				●					◎
	521	○産業経済論研究指導 A	2				●	●				◎			
	512	○ミクロ経済学・応用ミクロ経済学研究指導 B	2			◎					●			◎	●
	512	○計量経済学・応用計量経済学研究指導 B	2	●	◎				●						◎
	512	○マクロ経済学・応用マクロ経済学研究指導 B	2											◎	●
	511	○ミクロ経済学・応用ミクロ経済学研究指導 A	2			◎					●			◎	●
	511	○計量経済学・応用計量経済学研究指導 A	2	●	◎				●					◎	●
	511	○マクロ経済学・応用マクロ経済学研究指導 A	2											◎	●
	479	地方財政論	2			◎			●	●		●		●	
	476	環境政策論	2	◎	●				●		●			●	
	475	環境経済学	2	◎	●				●		●			●	
	474	現代社会政策論	2						◎		●	●			
	471	労働経済学	2	◎	●				●		◎	●			
	464	金融組織と市場構造 B	2						●		●				
	463	金融組織と市場構造 A	2		◎				●		●				
	462	応用金融経済論 B	2	●						◎		●			
	461	応用金融経済論 A	2	●						◎		●			
	454	環境会計論	2			◎				●				●	
	452	会计学	2			◎			●		●			●	
	451	財務諸表論	2			◎			●		●			●	
	447	消費税法	2			◎			●		◎			●	
446	国税通則法	2			◎			●		◎			●		
445	リーガルサーチ	2			◎			●		◎			●		
444	国際租税法各論	2			◎			●		◎			●		
443	国際租税法総論	2			◎			●		◎			●		
442	租税法各論	2			◎			●		◎			●		
441	租税法総論	2			◎			●		◎			●		
433	東アジア経済論	2				●				●		◎			
432	国際地域市場開発論	2				●	◎	◎	●	●		●		◎	
431	国際地域開発論	2				●	◎	◎	●	●		●		◎	
427	地域産業論	2			◎			◎	●	◎	●				
425	ベンチャー企業論	2				◎		◎						◎	
423	マーケティング論	2				◎			◎		●				
421	流通経済論	2				◎			◎		●				
417	応用計量経済学	2		◎				●							
416	応用ミクロ経済学	2	◎					●			●		◎	◎	
415	○ミクロ経済学	2	◎					●					◎	◎	
414	応用マクロ経済学	2	◎					●					◎	◎	
413	○マクロ経済学	2	◎					●					◎	◎	
412	○計量経済学実習	2		◎				●			●				
411	○計量経済学	2	●	◎				●							
404	経済学専門文献バイシク B	2			●					●				◎	
403	経済学専門文献バイシク A	2			●					●				◎	
402	○経済数学	2	◎					●							

◎：選択必修科目

経済学研究科 応用経済学専攻の主要科目

主要科目	特徴
環境経済学	<p>環境経済学では、環境問題の背景とメカニズム、さらに環境評価について学びます。</p> <p>(1) ミクロ経済学的なアプローチを用い環境問題の経済分析と環境評価の手法を学び、環境分野における専門知識を身につける。</p> <p>(2) 環境経済学の学習を通じて、経済学の応用能力を身につけることで、経済学の視点から、環境問題を考えるために必要な基礎的能力を高め、社会問題としての環境問題への認識を深めることを目標とします。</p>
環境政策論	<p>環境政策に関して、公害問題、自然破壊、地球環境問題の歴史、現状とその背景、これらの問題に取り組む環境政策の枠組、手法などを中心に学習する。環境に関わる様々な問題がいかなる要因で発生し、その対応のためにどのような政策が構築され、残されている課題は何かを理解する。その上で、今後の環境問題への取組を展望し、その中で、環境技術者として、今後社会で果たすべき役割を考える。</p>
租税法総論	<p>本講義では、租税法基礎理論・租税実体法・租税手続法・租税救済法・租税制裁法について、基本的文献の輪読および重要租税判例研究によって理解を深めるとともに、租税の時事問題についても触れ、租税に関する幅広い知識を修得できるようにしたいと思っている。</p> <p>租税法総論では、租税法の基礎的理論を、租税法各論では、租税実体法、特に法人所得課税制度の内容を成す所得税法・法人税法を取り上げる。</p>
応用金融経済論	<p>近年の日本経済や世界経済を見ると、実体経済が金融経済に影響を与えていくことよりも金融経済の変動が実体経済へと影響していくことが多くなってきています。本講義ではそうした経済構造下での金融メカニズムを解明し受講者が自ら将来の経済変動や金利予測ができるようになり、それが企業経営や財務予測を行う上で役に立つことを目指す講義を行う予定です。</p>